

平成 5 年 度

◇ 東北地方建設局との業務打合せ会報告 ◇

総務委員会

1. 概 要

去る12月8日、仙台市勾当台会館において標記会議を開催しました。この会は、従来東北地方建設局との講話、懇談会という形式で、我々業界の様々な要望事項を提案してきましたが、平成5年度から業務打合せ会という形式で、地質調査業務遂行上の課題や問題点について小人数でより突っ込んだ討議がなされるよう配慮されています。会の出席者、詳細なプログラムは本文末に添付しましたが、我々が提案した地質調査業務の課題と、それに対する意見交換、質疑応答の概要について報告します。

2. 地質調査業務の課題について

今回は、以下の3つの課題を提案し意見交換を行った。

- (1) 地質調査業務の実施上の問題点について
- (2) 調査仕様の明確化について
- (3) 地質調査業の入札制度について

(1)は細分すると、解析等調査業務費の促進、前払い金の促進、業務問題に関する相互窓口設置の3点の問題について提案した。解析等調査業務費の促進については、特に地方自治体発注の業務についての徹底を、前払い金の促進については、調査の大型化等に伴い過年度で約40%台（地質協会調べ）のものを50%台のレベルまで引き上げてもらえるよう要望した。また業務問題に関する窓口設置については、近年の業務の多様化、高度化に対応し、積算上や業務遂行上で発生する諸問題について小委員会形式で協議する窓口を相互に設置し、仕様書等に反映してより良い調査が行えるよう提案したものです。

(2)の問題は、正確に調査仕様を把握し、発注の趣旨に沿った妥当な積算ができるよう、山岳地の仮設や解析業務に多く見られる一式計上について、特記仕様や詳細図面等で積算条件を明示してもらえるよう提案した。

(3)の課題は、現在色々と検討されている公共事業における入札制度の改訂が、地質調査業務についてはどのような方向に進みそうか、現時点まで発注者側の見解を聞かせて

頂いた。

3. 意見交換と質疑応答について

以上の協会からの提案に対し、宮地企画部長から総括的な地建側の説明と見解が述べられ、細部については質疑応答の形で討議されました。以下にその概要について主要点のみ報告します。

(1) 地質調査業務の実施上の問題点について

地方自治体発注業務における解析等調査業務費の促進については、大分改善が進んでいるものと理解しているが、これからも鋭意指導を継続する。調査前払い金の促進についても、該当するものは積極的に実施するよう事務所に指導するが、どのような実態か調査もしてみる。また業務問題に関する窓口設置については、現在建設コンサルタント協会とは実務レベルでの協議の場を持っており、地質調査協会とも同様の場を持つことは充分可能である。実務レベルでの有効な協議を行うよう両者で検討したい。

(2) 調査仕様の明確化について

以前より改善が進んでいると思われるが、12月1日以降、各事務所に数量で明示するよう、具体的な事例を示して指導している。併せて設計書、特記仕様等も整備していく。

(3) 地質調査業の入札制度について

現在、コンサルタント業務も含めどのような制度にするか検討中であるが、国際的な視野に耐えられる制度として、一般競争入札の導入（一定金額以上）、外国企業の参入と公正評価、談合罰則の強化、都道府県への一般競争入札の導入指導等の問題について協議を重ねている。

傾向としては、地質調査業務においてもプロポーザル制の適用が増えると思われる。例えば東北地建管内でのコンサルタント業務においては、平成4年度で12件、平成5年度で25件のプロポーザル制の適用が行われており、来年度から更に増やすよう考えている。

(4) その他の意見交換について

その他協会で開催したアンケート結果から、東北地建発注の地質調査業務の受注状況を参考資料として添付し、事業量の確保、発注の平準化等について意見交換を行っ

た（参考図として添付したので参照されたい）。

東北地建側からは、発注量に対する双方のデータに差が認められるが、ここ数年発注量の大巾な増はないもののほぼ横ばいと考えている。調査発注の多かった年の翌年は工事発注が多くなる等の変化は当然生ずるが、事業量の確保に努力したい旨の意見が述べられた。

4. おわりに

以上要点のみ取りまとめて報告しました。

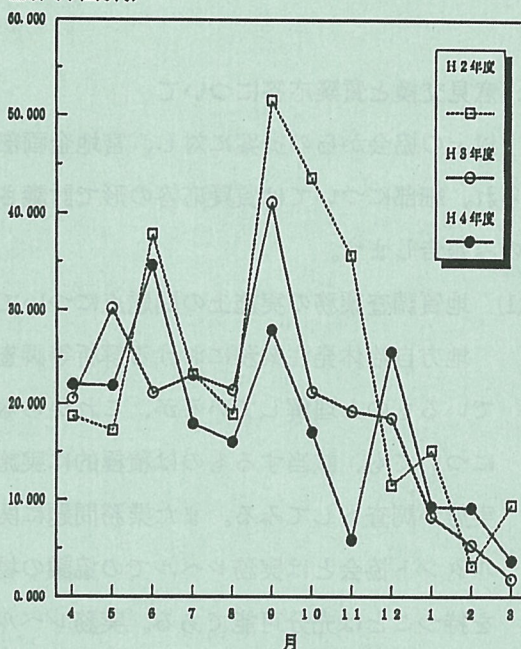
最後に地建を代表して宮地企画部長から、官民の懇談会が癒着の場として見られることもあるが、このような議

論の場は大変有益な会議と理解しており、知的産業との議論が正当な評価を受けるよう、建設事業の円滑な遂行のための議論の場としていきたい旨の挨拶を頂きました。

全体的な印象としては、これまでの形式と異なり少人数での会議であったため、比較的突っ込んだ討議が行われ、大変有意義であったと同時に、討議された内容を今後積極的に実行して活用していくことが重要と感じています。総務委員会としても次年度も更に充実した業務打合せ会になるよう努力する積りですので、今後とも会員皆さんの絶大な御協力をお願いします。

ここに到るまで中心となって準備頂いた総務委員の皆さん、また積極的に我々と討議頂いた東北地建関係各位の皆様に改めて深甚の謝意を表します。

金額（単位万円）



H2年度	総受注金額	286,453	1件当り	1,302
H3年度	総受注金額	232,306	1件当り	893
H4年度	総受注金額	211,641	1件当り	980

東北地質調査業協会調べ

参考図 月別受注状況 (56社)